

平成16年6月

京都大学「中期目標・中期計画」の要点

京都大学は、大学及び部局等の基本理念や特性を踏まえて第1期「中期目標・中期計画」を作成した。

- ・ 中期目標：平成16年5月26日 文部科学大臣提示
- ・ 中期計画：平成16年6月 3日 文部科学大臣認可

第1期「中期目標・中期計画」は、京都大学の基本理念や長期目標の実現に向け、第1期中期目標期間（平成16年度～平成21年度までの6年間）を通じて教育研究の質的向上及び大学運営の改善に取り組むための指針となる。第1期中期目標の要点は下記のとおりである。

基本的な目標

- ・ 自由の学風を継承・発展させつつ多角的な課題の解決に挑戦し、世界水準の卓越した教育研究を通じて、地球社会の調和ある共存に貢献する。
- ・ 国民に開かれた大学として社会との連携を強め、学術文化の創造と発展、並びに社会の持続的発展に貢献する。

教育

- ・ 豊かな教養と人間性、さらには強固な責任感と高い倫理性を涵養し、国際的視野とコミュニケーション能力を備えた人材を育成する。
- ・ 基礎研究を始めとする多様な学術研究を推進するとともに、社会・経済の変化に対応し得る幅広い視野と総合的な判断力を備えた専門的及び学際的人材を育成する。
- ・ 国際水準に照らした教育環境を整備し、学生に対する支援体制の充実に努める。

研究

- ・ 独創性と倫理性を備えた研究活動を推進し、新しい学問体系の構築と人類文化の発展に努めるとともに、国際的に卓越し開かれた研究拠点を形成する。
- ・ 卓越した総合大学として、研究科、附置研究所、研究センター等の理念・使命や特性に基づき、基礎研究並びに独創的な応用研究を推進することにより、学術文化の創造と発展に貢献するとともに、研究成果を広く社会に還元する。

運営

- ・ 教育研究活動における部局等の特性や自主性を尊重しつつ、大学として取り組むべき重点項目を定め、学内資源を効果的に配分するシステムを構築する。
- ・ 適切な業務評価に基づき柔軟な組織編成及び人員配置に努め、管理運営経費の抑制に努めるとともに、効果的・機能的な大学運営を図る。
- ・ 教育研究活動を始めとする多様な活動状況、さらには財務内容や管理運営に関する情報を公開し、国民に支えられる大学として国民や社会に対する説明責任を果たす。
- ・ 環境保全と適正な安全管理に努めるとともに、人権尊重の視点に立った取組を一層推進する。